NIE実践報告

1．タイトル：食べ残されたえびになみだ

2．学校名

鹿追町立鹿追小学校

3．実践者名（代表者名）

石川　直人

4．学年

3年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳・２１人

6．単元（本時の学習課題）名

食べ残されたえびになみだ

7．目標(狙い)

感謝の心を持ち、食べ物を大切にしようとする心情を育てる。

8．評価の視点

給食終了間近の中学3年生の新聞への投稿記事を読んだりすることを通して、感謝の心を持ち、食べ物を大切にしようとする心情を育てる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

10月　節度・節制、感謝　1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①資料をもとに多くのエビは、輸入されていることに気付かせる。
②教材文「食べ残されたえびになみだ」を読み、考えを発表する。
③食べ残されたエビを見たときの、主人公の気持ちをロールプレイで表現する。
　↓現実とのギャップ
④自分の給食の食べ方を振り返る。
⑤給食調理場の方の手紙を聞く。
⑥北海道新聞「あとわずか給食に感謝」を読む。
⑦授業の感想を交流する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

給食をいつも食べることをありがたさを感じている様子だった。また、投稿記事を扱うことの有効性も感じることができた。

12．成果と課題

成果
子どもからの投稿記事は、児童にとって親近感を持ったり、身近なことのように感じられるので、学習に取り入れやすく非常に有効
課題
記事を精選する時間を確保すること、新聞に普段から親しむ環境作り